



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

- 創立 1964年3月2日
- 例会日 毎・金曜日 12時30分
- 例会場 オークラ千葉ホテル
- 会長 水野 浩利
- 幹事 今井 太志
- 会報委員長 高橋 豊
- 事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2023-24年度

第2824回

2023年9月8日(金) 点鐘12時30分(台風 大雨)

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー
漫画家 さとう 有作様

◆会長報告

水野 浩利会長

みなさんこんにちは。
本日は台風13号接近の中、予想以上の皆さんにお集まりいただき大変感謝しております。

漫画家のさとう有作先生お忙しい中、また足元の悪い中をお越しいただき、有難うございます。卓話を楽しみにしております。

さて、ロータリーの9月は「識字率向上月間」というテーマを設けています。現在読み書きのできない大人、我々日本人では読み書きできるのは当たり前という感覚ですが、世界の人口は、約7億7300万人ということですが、その中で識字率が70%未満の国が、35カ国もあるということです。日本においては、ほぼ100%の識字率ですが、そのような教育を受けられない国はなんでこのようになってしまったのかというと、農村部であったり、貧困の国であったり、教育を受ける学校がないという国があったり、女性差別ですね。あとは、戦争や紛争が起きているという原因が上げられる、といわれています。



そこで、識字率が低いのは何が悪いのかというと、生活に必要な正しい情報が得られない、それだけ物を読んだり、聞くことができないような中で、それによって大人になっても自分自身の仕事を選べないというものがあったり、低いということは貧困に繋がってしまうので、できるだけその識字率を世界的に上げていきたいと思います。我々ロータリアンはどのようなことができるのか、クラブによっては、発展途上国に文具や図書を寄贈したり、あるいは学校を作っていくというクラブもあるようです。

我々のクラブですぐに何かをしようということとはなかなか難しいと思いますので、是非、受けのところに置いてありますロータリー財団の基金にご協力いただければと思います。その基金が教育、識字率向上に役立っていきますので、宜しくお願い致します。

先週お話ししました、「おもてなしノート」へのご協力もよろしくお願いいたします。

◆出席報告 (会員数 53名)

出席者数	欠席者数	ビジター	7/14 修正出席率
28名	24名	1名	70.59%

◆ニコニコボックス報告

●水野 浩利会長・今井 太志幹事

皆様、本日も荒天の中、お集りいただき、有難うございます。また、本日のゲスト、さとう有作様にはこのような台風下にお越しいただき、本当に有難うございます。後ほど卓話をお願い申し上げます。

さて、先週末、稲刈り作業にご参加された会員の皆様、そして、我々に素晴らしい機会を与えて下さいました伊藤会員、本当に有難うございました。農作業の大変さを楽しみ感じただけで幸いです。

●伊藤 和夫会員

皆さんこんにちは。
本日の卓話者、漫画家・さとう有作様、宜しくお願い致します。当クラブでの卓話は3回目になります。千葉弁で気さくなお話、有難うございました。

9月3日(日)、社会奉仕活動の実践、稲刈り作業、皆さんお疲れ様でした。9月7日におだかけ米を脱穀致しました。台風情報を気にかけて無事終了、近いうちに新米を皆さんにお届けします。

●向後 保雄会員

来月10月1日(日)の渋沢栄一を訪ねる日帰り旅行にご参加の皆様有難うございます。来年7月には10,000札になるお方ですので、まだ判断を決めかねている方も歴史を学び、10,000札を呼び込みましょう！

お待ちしております。

●松尾 博之会員

先日、金沢のツインフィールズというゴルフ場でハーフベスト37が出ました。トータル78でトータルのベストは更新出来ませんでした。今年の目標は、トータル76です。

頑張ります！！

本日のニコニコボックス	8,000円	累計	264,000円
金の箱	305円	累計	1,753円

本日の卓話

漫画家 さとう 有作様

私の師匠は亡くなられて20年になりますが、漫画家のはらたいら師匠です。全国各地を一緒にまわり、大変ご馳走になり、良い思いをたくさんしました…。



若いころからスポーツ万能で芸達者な、さとう有作先生は、久留里出身のこともあり、千葉弁を使いながら面白可笑しくお話くださいました。



関東大震災とは (インターネットより抜粋)

1923年(大正12)9月1日、日本の首都、東京を含む南関東全域は未曾有の大激震に襲われました。大正デモクラシーの風が吹く中、帝都を突然焦土と化した災害、関東大震災です。関東地震、関東大地震、相模トラフ巨大地震とも呼ばれます。

午前11時58分に地震発生、震源地は東京から約80キロの相模湾北西部、マグニチュード7.9と推定される超巨大地震でした。現代の研究では、関東大震災は11時58分32秒にマグニチュード7.9の本震、3分後にマグニチュード7.2、5分後にマグニチュード7.3と3度に渡って大地を揺るがした、「三つ子地震」であったことがわかっています。気象庁の観測では東京で震度6となっていますが、地震計の針が飛んでしまったために正確に計測できなかったものと推計され、小田原・相模湾岸・房総半島・東京の湾岸地域で震度7との推定値が出されています。

地震発生時刻が昼時であったため、各家庭は昼食の準備中で、かまどや七輪で火を使用していました。10分ほど続いた激震の後、各地で火災が発生します。倒壊した家屋を火の手が襲い、市民が所持して逃げた家財、大八車に積んだ布団などに燃え移って東京は火炎地獄となりました。

火災は東京市の下町を焼き尽くし、2日後の9月3日朝になるまで燃え続けました。

火災被害が甚大であったために、関東大震災は発生当初「大正大震火災」とも呼ばれました。

今年は関東大震災から100年。9月1日は「防災の日」です。関東大震災が由来の一つになっているそうです。もしもの災害に備えましょう！

第2825回例会

日時⇒ 2023年9月15日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 《落語》

二代目 月の家 小圓鏡 師匠

(担当 高橋 豊)